「都市づくりのグランドデザイン（改定）」素案　（概要）

1 都市づくりのグランドデザインの改定

✓ 目指すべき東京の都市の姿とその実現に向けた都市づくりの基本的な方針等を示す「都市づくりのグランドデザイン」を平成29年度に策定

✓ 策定から９年が経過し、東京を取り巻く社会経済情勢の大きな変化に対応するため、**目標時期を2050年代**に変更し**「都市づくりのグランドデザイン」を改定**

2 2050年代への展望

【社会状況の見込み】
- 海外の企業誘致や人材の受入れが進展し、**往来が活発化**
- **価値観の多様化**とライフ・ワーク・バランスが実現
- **伝統**や**個性**が生活に浸透し、**シビックプライド**を醸成
- 自然災害の激甚化や感染症など**新たな危機にも対応**　　等

【技術革新の見込み】
- **自動運転**が広く普及し、公共交通への活用が拡大
- 多様な**エネルギー利用**や**ゼロエミ技術**が進展
- **VRやメタバース**が浸透し、**リモートと対面**を自由に使い分け
- 最先端の技術による**新たな景観**の形成　　等

3 東京が果たすべき役割

【世界における役割】
- **多様な人材・知・文化の交流**から、新たな価値を創出する
- **都市課題の解決モデルを構築**し世界に示す

【日本における役割】
- 首都として、**日本経済の持続的成長を牽引**する
- 様々な地域と連携し、**活力を日本全体に循環**させる

4 目指すべき都市像

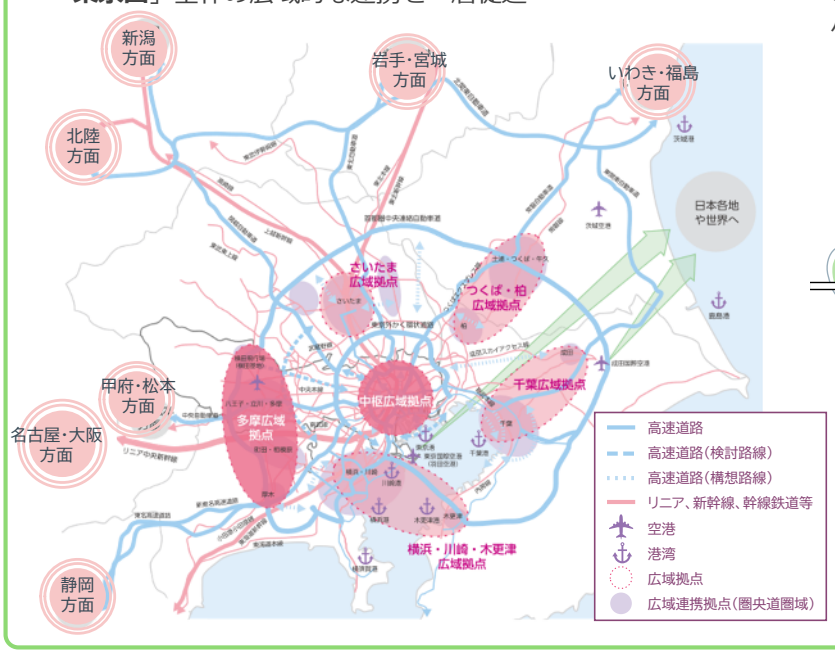
【都市づくりの目標】　「活力とゆとりのある高度成熟都市」

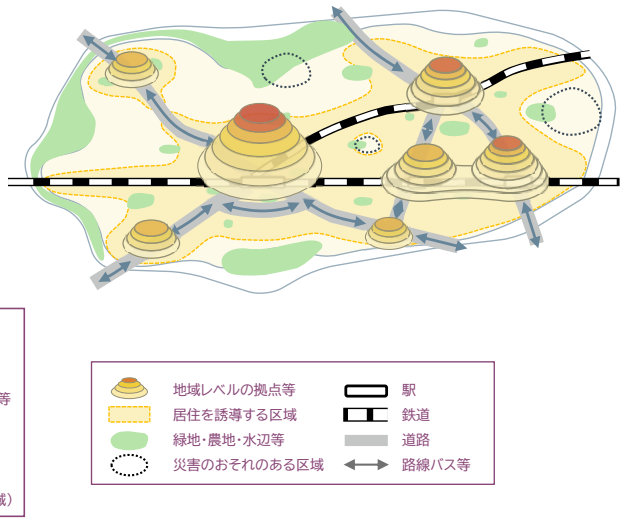
✓ 東京が世界から選ばれ、成熟の中からなお成長を生み出し続けるとともに、あらゆる人々が多様な暮らし方や働き方を選択でき、豊かさを実感できる都市を目指す

2050年代を支える東京の都市構造

〔広域的なレベルの都市構造〕
- 道路・鉄道ネットワークの整備・充実を進め、「**交流・連携・挑戦の都市構造**」を深化
- 国内外との交流を牽引する広域拠点を基盤として、**各地域との結びつきを強化**し、首都圏の枠を越えた「**グレーター東京圏**」全体の広域的な連携を一層促進

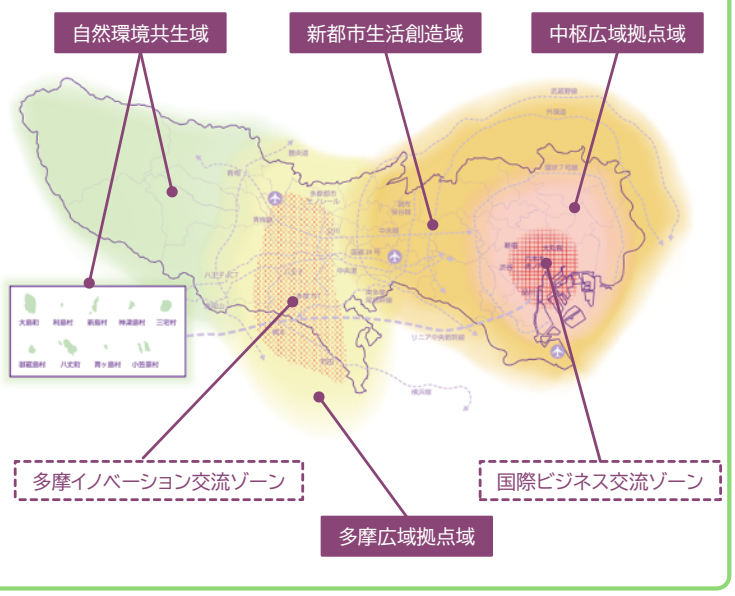
〔地域的なレベルの都市構造〕
- 高齢化等が進む中、誰もが活動しやすく快適に暮らせる「**集約型の地域構造**」へ再編
- 多様な地域特性を最大限活用し、**個性ある拠点を形成**するとともに、拠点や地域を公共交通等の**地域軸でつなぐ**ことで、にぎわいと魅力にあふれる地域構造を実現





4つの地域区分と2つのゾーン

- 都内を地域特性やインフラの整備状況等を踏まえ、**「中枢広域拠点域」「新都市生活創造域」「多摩広域拠点域」「自然環境共生域」**の４つの地域に区分
- 多様で高次な都市機能の集積を生かし、日本と東京の活力を牽引するエンジンとなるゾーンとして**「国際ビジネス交流ゾーン」「多摩イノベーション交流ゾーン」**を設定



5 都市づくりの戦略と具体的な取組

✓ 分野を横断する７つの戦略を設定し、戦略ごとに政策方針・取組を明示

✓ 戦略を強化する３つの視点
「個性の磨き上げ」「人中心のまちづくり」「交流・連携の強化」

戦略1 持続的な成長につながる個性ある多様な拠点の形成

政策方針１　個性ある拠点を軸でつなぎ新たな価値を生む
政策方針２　世界をリードする国際ビジネス交流都市を持続させる
政策方針３　多摩の個性と知が交わるイノベーション拠点を形成する
政策方針４　臨海部が区部中心部と一体的に発展し新たな価値を創造する

戦略2 自由な往来と活発な交流を広げるネットワークの進化

政策方針５　国内外の人・モノの活発な交流を支える空港機能を強化する
政策方針６　人やモノの移動を支える道路ネットワークを形成する
政策方針７　鉄道による快適な移動を実現し都市の交流を支える
政策方針８　道路や駅を人中心の空間に再編し交流とにぎわいを広げる
政策方針９　暮らしと経済を支える次世代物流ネットワークを構築する
政策方針10　舟運と次世代エアモビリティで新たな移動を生み出す
政策方針11　情報が距離や時間を越えてつながる

戦略3 災害から命と都市活動を守るレジリエンスの強化

政策方針12　震災に強く都市機能を止めない都市をつくる
政策方針13　激甚化する水害に負けない都市を実現する
政策方針14　様々な自然災害に備え都市のレジリエンスの底上げを図る
政策方針15　災害後も都市活動と暮らしを速やかに立て直す復興力を高める
政策方針16　都市インフラを将来も健全に使い続ける

戦略4 持続可能な都市モデルを構築し地球環境の変化に適応

政策方針17　脱炭素社会を支える強靭な都市エネルギーシステムを実現する
政策方針18　自然の力を活かすグリーンインフラを都市に実装する
政策方針19　酷暑に強い都市環境を実現する
政策方針20　資源循環のエコシステムを実現する

戦略5 暮らしを支える住まいと身近な生活圏の充実

政策方針21　市街地を集約しメリハリある地域構造を形成する
政策方針22　多様な機能にアクセスし自分らしい暮らし方を選べる
政策方針23　高齢者や障害者が生きがいを持ち子供たちが健やかに成長できる環境を整える
政策方針24　東京の魅力を生かした多様な住まいを実現する
政策方針25　良質な住宅ストックを次世代へつなぐ
政策方針26　多摩ニュータウンを再生し豊かな暮らしの新たなモデルを広げる

戦略6 多彩な緑と水が織りなす新たな恵みの創出

政策方針27　あらゆる場所で緑を感じられる都市をつくる
政策方針28　農のある暮らしと多面的な価値を未来へつなぐ
政策方針29　水辺を活かし人々をつなぐ
政策方針30　島しょならではの魅力と価値を守り育てる

戦略7 歴史・文化、芸術・スポーツに触れられる機会の拡大

政策方針31　歴史・文化を活かし都市の魅力を磨き上げる Old Meets New
政策方針32　芸術が身近に息づく都市を実現する
政策方針33　東京ならではの景観を活かし観光都市としての魅力を高める
政策方針34　スポーツが暮らしの中に溶け込んだ都市をつくる

6 個別の拠点や地域の将来像

✓ 目指すべき新しい都市像の実現にあたっては、**拠点や地域の個性を生かしながら**、都民や民間事業者、区市町村などの**様々な主体が連携して魅力的なまちづくり**を進めることで、東京全体の活力を向上させていくことが必要

✓ 経済や産業を支える中枢機能が集積する拠点、人々の生活や交流の中心となる拠点、歴史的な街並みや芸術・文化の施設を有する地域、水辺や緑地、農地の広がる地域など、個別の拠点や地域の将来像の一端を示す

7 2050年代の将来像の実現に向けて

✓ 将来像とその実現に向けた方策を幅広い関係者と共有するとともに、**相互の連携を深化**

✓ 関連計画や方針の策定・改定を進めるとともに、**新たな仕組み**や**インセンティブ**を検討

✓ **データ整備・活用**を進めるとともに、**デジタル技術**も取り入れ、都市づくりを高度化

✓ 東京の魅力や培われてきた技術や知見など都市づくりに関する**情報を分かりやすく発信**

【今後の予定】令和８年10月　素案公表（公表後、パブリックコメントを実施）
令和８年度中　（仮称）「都市づくりのグランドデザイン（改定）」予定